

意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

案 件 名	登別市本庁舎建設基本構想の改訂（案）	
意見の募集期間	令和3年10月19日から11月17日	
担 当 グ ル ー プ	総務部総務グループ	
意見の提出件数	4件	
提出された意見の概要と市の考え方		
NO	意見の概要	市の考え方
1	<p><b>【天変地異・地震対策について】</b></p> <p>津波の問題や土砂災害について事業の継続性が重要である。昨今は大雨被害も重要で排水がちゃんとなされるのかも含めて設計すべきである。</p> <p>1. 免震対策（地震の揺れ対策）</p> <p>免震が一番理想であるが、耐震、制振はどうするのか。3階建て以上であれば免震の方が望ましいのではないかな。</p> <p>2. 停電対策</p> <p>データセンター並みの電力供給が必要ではないか。過去実際に停電になって国土交通省の電源車・照明車まで市役所に来てもらってました。変電所も異系統からの受電、大型発電設備の設置なども考えるべきではないか。</p> <p>3. 水道供給（水の供給について）</p> <p>昨今、水道管が壊れてしまう事例とかがあります。水が止まってしまうと、消防的観点でも、事業継続の観点でも必須項目です。市民の給水拠点としても機能も考えておくべきです。そこで、市役所に貯水設備を設けておくべきではないか。</p> <p>4. 通信断とならない対策について</p> <p>昨今、通信設備が止まってしまうと大変なことになります。市役所への電話が止まるとかあってはならない事です。4大携帯電話会社と大手通信会社の回線が通じる事も大事ではないか。特に携帯電話会社は持続可能な業務では重要である。</p>	<p>令和2年3月に策定した登別市本庁舎建設基本計画において、建物の構造種別は、耐久性及び耐火性に優れるRC構造を主要構造の候補として検討していくこと、また、災害時などの非常時の対応として、最低限72時間のバックアップ機能を確保し、初動からの確実な災害対応を可能とするとともに、被災時においても一定の行政機能が維持できるよう計画することとしております。</p> <p>その内容を踏まえつつ、今後予定している登別市本庁舎建設基本計画の改訂や基本設計の策定時に、各種市内団体や民間事業者との対話などを実施しながらその具体的な各種対策について、さらに検討してまいりたいと考えております。</p>
	<b>【入居テナントについて】</b>	現在、サウンディング型市場調査を行い、

<p>市役所機能だけでは建設費を回収することが困難になる事があります。そこで合同庁舎を前提として他の公共施設を併設する考えについて、</p> <p>(イ) 講堂（講演音楽演芸等が可能な市民会館的な設備）設備についての検討</p> <p>(ロ) 売店（コンビニエンスストア）や食堂（イートインスペース）を設けて市民来庁者利便性向上や職員の福利厚生と経済効果を考える</p> <p>(ハ) 保育所の併設や老人福祉施設の併設、植物園（クリンクルセンターにあるような感じの）などを同居させてはどうか。</p> <p>(ニ) 商工会議所などを同居をしてもらうとかも考えてもいいのではないか。</p>	<p>陸上競技場敷地の活用方法に関することや、庁舎のトータルコストの削減に向けた本庁舎の整備手法、構造に関すること、環境への配慮や再生可能エネルギーに関すること、事業期間に関すること及び庁舎の整備やまちづくり全般に関することについて広く意見をお聞きすることとしておりますので、その結果をもとに、今後検討を行ってまいりたいと考えております。</p>
<p><b>【AI 電子申請を前提とするのか、各種申請を1階でまとめて出来る設計】</b></p> <p>1階で各種申請を合理的に申請ができる空間を考え市民サービスの合理化を考えるべきではないか。今後電子申請が前提であれば来庁者はそこまで多くは来ないと思うが、来庁者が多くくるのかどうかも含めて考えるべきではないか。</p>	<p>現在、サウンディング型市場調査を行い、行政運営の効率化を進めるとともに、さらなる市民サービスの向上に向け、業務プロセスの見直しやICTの利活用、外部委託の可能性、官民連携の手法など広く意見をお聞きすることとしておりますので、その結果をもとに、今後検討を行ってまいりたいと考えております。</p>
<p><b>【駐車場のあり方と交通機関との関係性について】</b></p> <p>来庁者は自動車で来ることが前提となるのか、バスなど公共交通機関なのかによって変わってくると思いますが、バス停が市民プールのような方式で乗り降り出来る方が望ましいのではないか。自動車も駐車場の容量をどのくらい用意すべきなのか、また立体駐車場にするのかなどの部分も考えないと設計も難しいのではないか。市役所までの足をどうするかによって市役所の構造が変わるのではこの点検証が必要ではないか。</p>	<p>登別市本庁舎建設基本構想では、公用車駐車分を除き、障がいのある方や妊婦などの優先駐車場も含め、来庁者用駐車場は現在の2倍の100台の確保を目指すこととしております。</p> <p>また、公共交通機関については、今後、各種市内団体や民間事業者との対話などを実施しながら、そのあり方について、検討してまいりたいと考えております。</p>
<p><b>【入札にするのか、プロポーザル方式にするのか】</b></p> <p>入札で安いからいいとかではないと考え</p>	<p>登別市本庁舎建設基本構想において、新庁舎の建設事業手法を、「従来方式」、「PFI方式」、「設計・施工一括発注方式（DB</p>

	<p>ます。また、国の制度を最大限活用することや、北海道の制度を活用することなども必要で、場合によっては合同庁舎ではないが国の出先期機関や北海道の出先機関を、むろらん広域センターのように同居を考えてもいいのではないかと。むろらん広域センターは株式会社が施設管理をしています。このやり方を参考にしたいとどうか。</p>	<p>方式)」、「リース方式」などで比較検討を行うこととし、設計段階から施工時に至るまで市の考えや市民の意見を反映しやすく、地元企業の参入がしやすい方式の採用が必要であり、PFIなど民間ノウハウの活用も視野に入れる必要があるとしております。</p> <p>事業手法については、今後、改訂を予定している登別市本庁舎建設基本計画において、改めて検討してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>陸上競技場への移転は賛成だが、現在の陸上競技場の代替を考えていないという考えには疑問が残る。利用者が少ないというのではなく、そもそも予算を掛けて整備をしていない状況がここ何年も続いている。これでは市民も近寄らない。昔は陸上大会もたくさん行われ、近年市民マラソンとして、こいのぼりマラソンも定着してきたのに非常に残念。</p> <p>少なからず、ご年配の方々が散歩や親子連れで陸上競技の練習をしている姿も見かけます。夕方車のライトを使って練習している方も見かけますよ。幌別中学校の陸上記録会も目の前に競技場があるのに、わざわざバスをチャーターして入江競技場まで行く必要があるのか。それこそ、大規模災害の時には、陸上競技場程の広さがあるグラウンドが必要なのでは。</p>	<p>市営陸上競技場は、近年、利用団体・利用者数は減少傾向にあり、「陸上競技場」としての利用はあるものの、その多くがグラウンドや多目的広場として利用されている状況にあります。このことから、他の既存施設を有効活用することでおおよそのニーズが満たされると考え、市営陸上競技場廃止方針(案)において、代替施設は整備せず、廃止することとしたところです。</p> <p>また、大規模災害時には、陸上競技場敷地内に本庁舎が建設された場合においても、駐車場付近などには、一時的に避難することができるスペースは確保できるものと考えております。また、近くには幌別中学校があり、幌別中学校グラウンドについては、災害のため一時的に避難する指定緊急避難場所として指定しているため、避難できるスペースは確保できるものと考えております。</p>
	<p>幌別中学校横の雑木林を陸上競技場(全天候型)を備えた市民公園として整備したらどうでしょうか。陸上競技場横からコープタウンへ抜ける道も非常に暗く、変質者も多い通りだと聞きます。幌別地区には徒歩圏で行ける大きな公園が無く(川上公園や亀田公園はあるが)市民が憩える場所が少ないように感</p>	<p>現在における本市の公園整備についての考え方としては、利用者の安全確保と維持管理等のコスト縮減をめざし、老朽化している公園施設の改築を最優先に進めているところでもありますので、新たな公園整備については、非常に困難な状況であります。</p> <p>本市には、千歳市の青葉公園のような大規</p>

	<p>じる。</p> <p>千歳市にある青葉公園をご存じですか。森林の中に遊具のある公園、陸上競技場、野球場、テニス場、サッカー場、ラグビー場、図書館と市民の憩いの場となっています。</p> <p>人口を増やそうと考えているのであれば、若い子育て世代が安心して子育てが行える環境が必要だと思います。</p>	<p>模な公園はありませんが、豊かな自然を有する公園としましては、亀田記念公園やキウント湿原、運動施設を有する公園としましては、岡志別の森運動公園や川上公園、大きな遊具のある公園としましては、富岸公園や新川公園などがあります。また、小さい公園となりますが、概ね徒歩圏内で整備されているものと存じますので、既存の公園をご利用いただきたいと考えております。</p>
	<p>時代に逆行しているかもしれませんが、新しい庁舎には喫煙ルームも必要ではないかと思えます。喫煙者の市職員さんを責める気はないのですが、現在市職員の方々は隣にあるセブンイレブンの駐車場で喫煙されていますよね。傍から見ても見栄えの良いものではありませんし、陸上競技場移転時にはすぐ下にあるファミリーマートが喫煙場所となるのでしょうか。中学校も近いことですし、市職員さんはすべて禁煙してくださいという訳にもいかないでしょう。火災予防の観点でも目立たない場所に喫煙場所があった方が安心です。</p>	<p>新庁舎への喫煙ルームの設置についてありますが、平成30年7月に望まない受動喫煙の防止を図るため、健康増進法の一部が改正され、本庁舎など行政機関の事務所の入る施設については、敷地内禁煙とされておりますので、喫煙ルームの設置は考えておりません。</p> <p>また、職員の喫煙に関しましては、今後も喫煙を許可された場所において、モラルのある行動を心掛けるよう周知してまいりたいと考えております。</p>
3	<p>今回、陸上競技場に庁舎を移転することは、安全・安心の観点から支持します。</p> <p>一方、利便性を考えると課題もありますので、今回、行政サービス（ソフト）の観点から、庁舎（ハード）の在り方について提言します。</p> <p>第一は行政サービス（ソフト）の在り方について議論し、その上で庁舎（ハード）を決めるべきではないでしょうか。まず、行政サービスは地域別に（仮称）サービスセンターを設置し、本庁に行かなくても基本的サービスが受けられる。どうしても本庁にいかなければならない手続きもあるでしょう。その場合でも、内容によっては、後日、郵送で書類が送られてくるサービスがあっても良いと思います。勿論、サービスセンターにはス</p>	<p>行政サービスのあり方については、現在、サウンディング型市場調査を行い、行政運営の効率化を進めるとともに、さらなる市民サービスの向上に向け、業務プロセスの見直しやICTの利活用、外部委託の可能性、官民連携の手法など広く意見をお聞きすることとしておりますので、その結果をもとに、今後検討を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、庁舎については、現在、サウンディング型市場調査を行い、陸上競技場敷地の活用方法に関することや、庁舎のトータルコストの削減に向けた本庁舎の整備手法、構造に関すること、環境への配慮や再生可能エネルギーに関すること、事業期間に関すること及び庁舎の整備やまちづく</p>

タッフの常駐が必要です。例えば、市役所のOB、現役のローテーション、研修を積んだスタッフなどいろいろ考えられるでしょう、コスト面からも毎日常駐しない、曜日指定、土日サービスなどの工夫は必要でしょう。手続きに来た方の本人確認には、マイナンバーカードです。現在の普及率は30%程度（推定）で、持っている方でもほとんど使い道がありません。マイナンバーカードを持ってない方は、申し訳ないけど本庁まで出向かないと近くでのサービスは受けられない差別化により、マイナンバーカードの普及拡大にも繋がると確信します。

◎結論：本庁に行かずとも、ほぼ同様の行政サービス（出前型サービス）が受けられる、その原資はマイナンバーカードである。

さて、ソフトが決まれば次は庁舎（ハード）である。予算が潤沢に有り、利便性が高いのであれば、シンボリックとしての意味合いから、立派な庁舎であるべきでしょう。しかし、どうでしょうか、財政の硬直化に加え、今後の人口減、他の施設（クリンクルセンター、給食センター等）の更新もあり、国からの補助金（40億円×70%=28億円）でも、12億円以上の費用負担が生じる事を考慮すると、サービスセンターと重複しない、行政業務の改善により、小さな本庁でも充分機能は果たされると確信します。一方、本庁はコミュニティとしての場所でもあり事から、それに即した機能施設は必要であります。例えば、図書館、児童館、幼稚園、老人・婦人クラブ、サークル活動等、市民が気軽に集まれる場所です。また、議会場（稼働率が低い）などの多目的有効活用も必要でしょう。次は、建設ですが、高齢化を踏まえバリアフリー（2階建て）の採用、何も建設コストが高く、工期が長い鉄筋コンクリートでない、鉄骨で十分です。鉄骨は鉄筋に比べると建設コストは、20～30%安く建設出来る

り全般に関することについて広く意見をお聞きすることとしておりますので、その結果をもとに、今後検討を行ってまいりたいと考えております。

	<p>し、工期も数ヶ月短縮出来ますし、鉄骨ですと増改築は簡単に出きます。</p> <p>◎結論：庁舎は機能重視、シンボリックである必要性の優先順位は低い。</p> <p>これからの行政サービスは、今までに経験した事がない事案に対してどう向き合うかです。前例がない、条例にない、契約にないなど、議論が中断したり、門前払いすようであれば、改革・改善は到底出来ないでしょう。また、新庁舎建設プロジェクトなる部署が出来たので、その中で情報を集め、議論をし、情報発信しながら、市民の声を聴き決断をして戴きたい。</p>	
4	<p>本庁舎を建設する前に5～10年後の市の状況を考えた取り組みが必要と考えます。第一に人口が減るばかりの中で陸上競技場への移転が必要か、又移転しても市役所の周りが発展するか、空き地がないので発展性がない。</p> <p>第二に市内全体を見ると海岸線にそった街で発展してる様に見受けられますので、津波浸水想定を考え防潮堤を作り、街が生き残る事を考えた方が市民の為になると考えます。災害が起きても消防指令業務は中登別に新しい消防署が有り、又各市町を統合の話もあり、災害で高台だけが被害から免れても意味がない様に感じられます。</p> <p>茨城から転入して来たので市の事はあまり知りませんが、町内会の活動が活発なところとコロナ禍にかこつけ活動が見えない所もある様に感じられます。</p>	<p>現在の市役所本庁舎は、施設、設備の老朽化が進み、耐震性も十分に確保できていない状況にあり、多くの課題を抱えています。こうしたなか、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震が発生したことを契機に、津波や地震をはじめとする災害に対する防災意識は大きく高まりました。</p> <p>本市では、平成30年9月に、新庁舎の基本的事項として、基本方針、位置、機能及び規模など庁舎に関する基本的な市の考えをまとめた登別市本庁舎建設基本構想を策定し、現庁舎敷地に新庁舎を建設することとしました。しかし、令和2年4月に内閣府から新たな津波浸水想定が公表され、さらに令和3年7月に北海道において、より詳細な津波浸水想定が公表されたことにより、現庁舎敷地に新庁舎を建設することは、災害対応の観点で庁舎の機能維持が極めて困難であると判断し、幌別地区の高台に新庁舎を建設することとしました。また、幌別地区の高台に新庁舎を建設するにあたり、様々な検討を行った結果、「登別市営陸上競技場」が最善の場所であるとの結論に至ったところです。</p> <p>また、津波災害への備えとして、比較的頻度の高い津波（数十年から百数十年に一度程度）に対して、人命、資産、国土（海岸線）</p>

		<p>等を確実に守ることができるよう、市内一帯の沿岸沿いにおける堤防、護岸、離岸堤、津波防波堤などの整備について、国に対し要望してまいります。</p>
--	--	---